

59. 20201220 サネカズラ(ビナンカズラ)について(赤い木の実シリーズその1)

緑の中に赤くつやつやと美しく映え、おいしそうなお実をつけたサネカズラを、赤い実をつける木のシリーズ第1号として整理してみます。

1. マツブサ科のつる性常緑樹
2. 名前の「サネ」は実、「カズラ」はツルを意味する。
3. 別名のビナンカズラは、むかし樹皮の粘液からちよんまげの整髪料を作ったことに由来する。
4. 光沢のある葉は互生で、まばらに鋸歯がある。
5. 常緑だが、秋から冬にかけて寒さで紅葉することがある。
6. 花期は8～9月。花はあまり目立たないが、雌花と雄花があって、どちらか片方をつける単性株と両方が付く両性株がある。
7. 新枝の葉腋から花柄が垂れ下がって下向きの花をつける。
8. 雌花も雄花も淡黄色の花被片を持ち、多数のしべが球形につく。
9. 雌花は雄花より小さい。
10. 雌花にはたくさんの緑色をしたメシベが丸く並ぶ。その一つ一つが受粉して実が育ち、最後にくっついて全体は一個の丸い集合果ができる。
11. 雄花も雌花も同じ花の形をしているが、雄花は赤のオシベを同じように丸くつける。
12. 結実期は10～1月
13. おいしそうに見えるが食用にはならない。野鳥が食べに来た状況にも出くわしたことがないので、野鳥にも好まれないのかもしれない。



光沢のある葉



おいしそうに見える集合果



雄花 赤いオシベ



雌花 緑色のメシベ